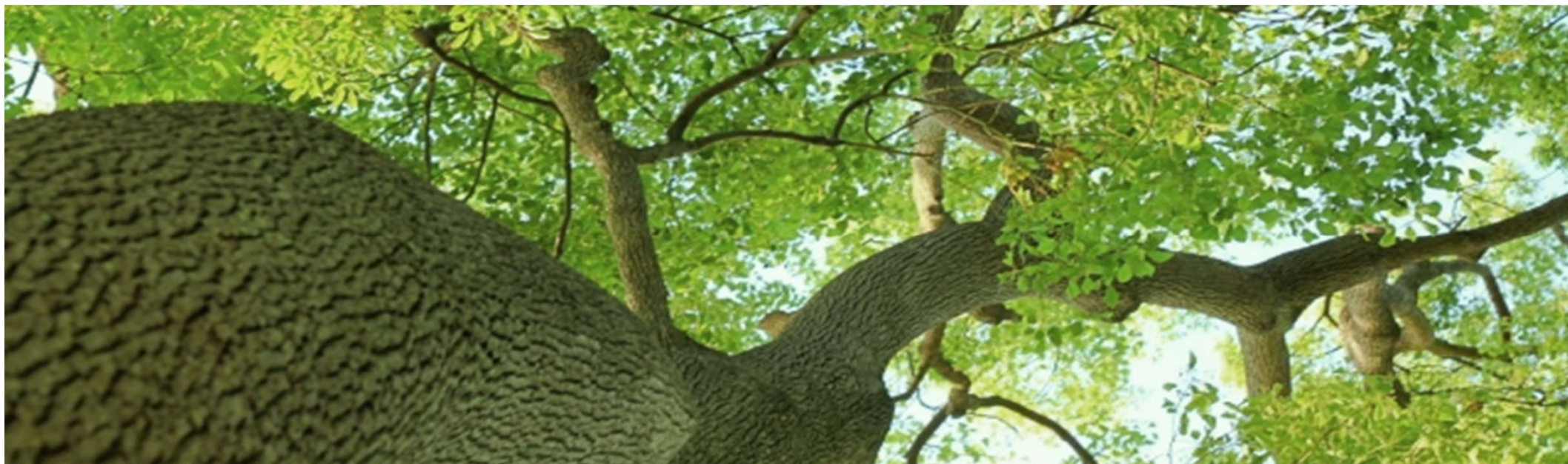


「7つの習慣 × HuAD」

『働き方と生き方』の両面で自分自身をアップデートし、長期的成果を生み出す風土を創る



目的

ゴール 01

変化に適応し続ける力をつける

7つの習慣は、人格と対人関係スキルを大きく掘り下げます。管理者・リーダークラスが率先して実践することで、現場での一体感と競争力を大きく高める要因となります。

ゴール 02

迅速かつ精度の高い戦略実行

「最優先事項を優先する」、「Win-Winを考える」といった原則は、迅速で精度の高い意思決定を支援します。また、日常的なトラブルで燃え尽きることを防ぎ、戦略実行の時間を確保してから行動します。

ゴール 03

新たな価値をゼロベースで創る

競合他社の動向や経済環境等の外部脅威との向き合い方は、パラダイム次第で大きく変わります。「影響の輪」で考える事で、「自社にできることは何か」と考え行動できるようになります。結果として、社内外で創造的協力を新たに生み出す基盤を築けます。

ゴール 04

一貫性のある組織文化の醸成

7つの習慣というOS(考え方の基盤)によって、貴社の理念やビジョンがより一層浸透し、強固な行動基準が生まれます。これによって、社内外で長期的な信頼関係の構築にも大きく寄与します。

7つの習慣という**共通言語**が浸透

当事者意識を発揮する社員が増え、組織全体が**活性化**する

社内外で**相互理解**の関係性が進み、持続可能な成長スパイラルが実現する

「7つの習慣」を題材にした研修で…



原理原則を学ぶ

- 効果性の高い原理原則
- 成長するための習慣
- シナジーを生み出す習慣



自分事に落とし込む

- 効果性の高いパラダイムと自分の考え方のギャップを知る
- 普段の業務に置き換え、リーダーとしての行動を振り返る



共通体験・共通言語

- 長期的成果を出すために必要な考え方や基準を共有
- 価値観の違いに対して、相互に歩み寄ろうとする姿勢が見える

成果の出る考え方を、共通の“ものさし”としてインストールし、
変化に対して柔軟に取り組む企業文化・風土を構築するための土台とする

7つの習慣×HuAD だから生まれる相乗効果



論理(頭)での理解

7つの習慣のロジックを取り入れることで
考え方の定着、復習、再現を実現！

- ・講師はあくまで「ファシリテーター」として存在
- ・参加者の合意形成・相互理解に向けてのサポート役
- ・目的に到達できるように支援



成果が出る理論の体系化
(考え方・捉え方の習得)

建設的な共通言語や組織力の強化



考え方(心)の理解

実践体験型でアウトプットを多くすることで、
視野の拡大と問題の掘り下げを実現！

- ・対話型研修で、キチンと理解・納得まで導く
- ・個別の考えを掘り下げ、気づきを具体的な行動に変える
- ・研修前後のサポート、習慣定着までフォローアップ



課題の自分ごと化
(使命感・責任感の醸成)

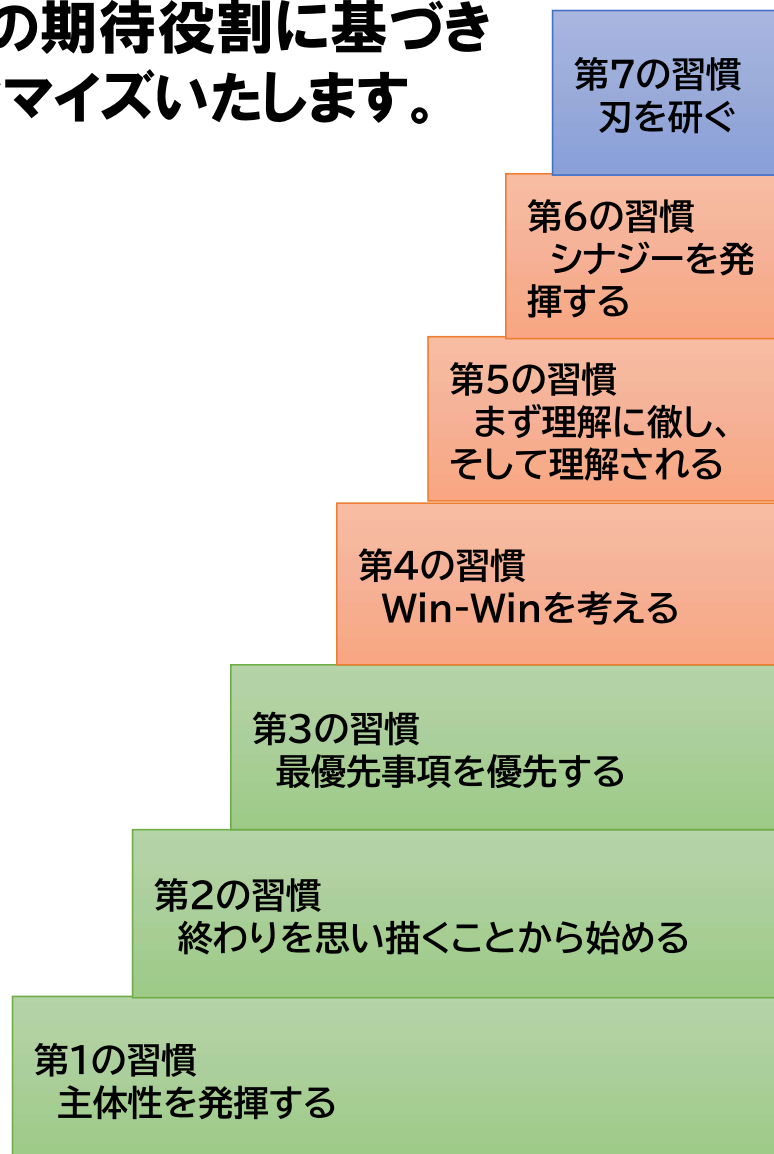
個々の潜在能力を引き出す

双方の強みを掛け合わせることで、最大限の相乗効果を生み出します。

気づきのレベルが上がり、理解度、納得度もさらに高まり、**行動変化**がより確かなものになります

7つの習慣で得られる資質

貴社対象者の期待役割に基づき
研修をカスタマイズいたします。



得られる資質



効果的な学習環境とマネジメントサイクル

「7つの習慣＝成長し続ける組織・人の習慣を教訓化したもの」を体系的に学び、
自分自身の物事の捉え方や行動習慣を自分ごとに置き換えて習得します。

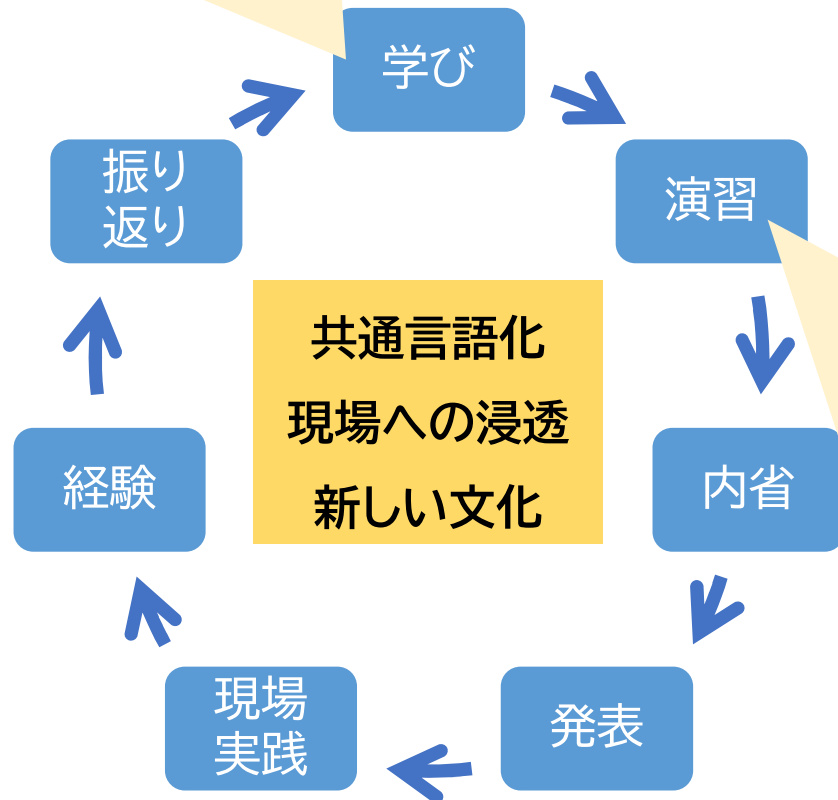
効果的な学習環境



テキスト



ビデオ教材

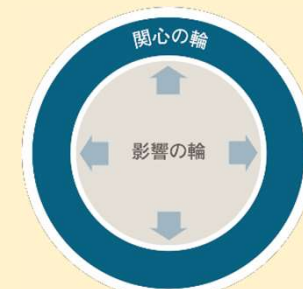


演習で取り扱うフレームワークの一例

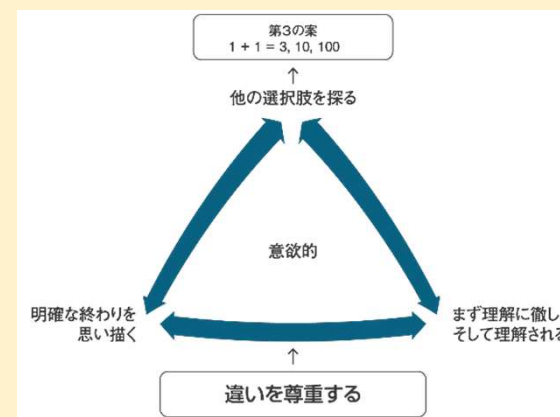


SEE-DO-GETサイクル 時間管理のマトリクス

緊急		緊急でない	
重要	Q1 第1領域 必須	重要でない	Q2 第2領域 効率性
重要でない	Q3 第3領域 中断	重要でない	Q4 第4領域 無駄



影響の輪と関心の輪



第3の案(シナジーを創り出す)

標準研修カリキュラム

1日目 9:00～17:00

パラダイムと効果性の原則

効果的な「ものの見方・考え方」を身に付ける

- ・「パラダイム・シフト」で見方を変える
→無意識に持っている偏りを小さくして、正しい姿を捉える
- ・「インサイド・アウト」で自分の内側から変える
→周りの環境や相手を変えるのではなく、自分から変わることで周りに影響を与える

【第1の習慣】 主体的である

自ら選択し、その結果に対する責任を持ち、自分自身から影響を及ぼしていく
【「影響の輪」に注力し、「主体的な人」へと成長する】

- ・自分の行動の責任は自分にある。それを忘れないことが「主体的」である
- ・刺激を受けた時に「一時停止ボタン」を押して、どう行動するかを選択する
- ・自分の力で変えられる「影響の輪」にエネルギーを注ぐ
- ・自分との約束を守ることが、自信につながる

【第2の習慣】 終わりを思い描くことから始める

行動する前に、自分自身の価値観に基づいた方向性や目的を見出す
【理念追求の志向、逆算思考が身に付く】

- ・人生の「ゴール」を決めることで、自分が「自分のリーダー」になる
- ・ブレない自分となるために、自分の中心に「原則」を持つ

2日目 9:00～17:00

**【第3の習慣】
最優先事項を優先する**

自分自身の方向性に基づき、重要な事柄を優先しながら計画を立て実行する
【緊急事項ではなく重要事項を優先するようになる】

・「緊急ではないが、重要なこと」に集中するために、Noと言う勇気を持つ

私的成功から公的成功へ

人間関係において確固たる信頼を築く
【信頼貯金をつくる】

・周りの人と良い関係を築くためには、その場しのぎのテクニックでは役に立たない

**【第4の習慣】
Win-Winを考える**

常に相互の利益を求めるスタンスで、長期的な人間関係を構築する
【顧客や部下とWIN-WINの関係を築く】

・「思いやり」と「勇気」、全ての人が幸せになれると心から信じる「豊かさマインド」

**【第5の習慣】(前半)
まず理解に徹し、
そして理解される**

先ず相手を理解するように努め、その後で自分を理解してもらうことで、コミュニケーションの質を高める

【顧客や部下と真の関係構築をする】

・「聞き上手」になって、言葉の奥の「相手の本音」に耳を傾ける

3日目 9:00~17:00

【第5の習慣】(後半)
まず理解に徹し、
そして理解される

先ず相手を理解するように努め、その後で自分を理解してもらうことで、コミュニケーションの質を高める

【顧客、部下と真の関係構築をする】

- ・部下の話を書く時に「自叙伝的反応」に気づく

【第6の習慣】
シナジーを創り出す

多様性を活かし、創造的に協力することで、革新的な解決策を生み出す

【相手との違いを理解し、建設的な着地点へと導く】

- ・意見の違いを理解し、お互いの意見を理解しあうことで、「第3の案」を見つけ出す
- ・上手くいかない時の「抑止力」を取り除くために、これまでの習慣を活用する

【第7の習慣】
刃を研ぐ

肉体、知性、精神、情緒の側面を定期的に磨き、モチベーションと活力を向上する

【表面的ではなく、根本から自己育成・他者育成をし続ける】

- ・望む結果を手に入れるために、自分という「資産」に「投資する」と考える

7つの習慣を活かす

ワークセッションでの学びとスキルをビジネス・生活に応用する

【自分・部下・部門の課題を発見し、何を変えるべきかを明確にする】

お問い合わせ

株式会社ヒューエイド

 <http://www.huad.co.jp/>

【本社】

〒104-0061

東京都中央区銀座6-12-10 銀座龍岡ビル6階

 03-5537-5877  03-5537-5139

【関西事業部】

〒532-0003

大阪府大阪市淀川区宮原4-1-45 新大阪八千代ビル9階

 06-6398-0066  06-6398-0068